

福岡県介護支援専門員協会より演題発表者の協力依頼文書です。

●演題発表者をご希望の場合は、所属支部・ブロックの理事へ
【7月3日（木）17時までに】ご連絡ください。

令和7年4月吉日

日本介護支援専門員協会
九州・沖縄ブロック 支部長 様

(公社)福岡県介護支援専門員協会
会長 柴口 里典



第17回 日本介護支援専門員協会 九州・沖縄ブロック研究大会 in 福岡
(第9回 福岡県介護支援専門員協会 研究大会)
分科会座長並びに演題発表者のご協力について(お願い)

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より本会の活動に際し、格別のご高配を賜り深謝申し上げます。

さて、この度、ご周知の通り第17回九州・沖縄ブロック研究大会を本年12月に福岡市にて開催する運びとなりました。

つきましては、各分科会における座長ならびに演題発表者についてご協力をお願いいたく存じます。

ご多忙の折、誠に恐縮に存じますがご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

記

1. 大会メインテーマ

未来につながる道標 ～変わらない想いと変える未来～

2. 開催日時及び開催場所

令和7年12月13日(土) 12時30分 ～ 18時00分

福岡国際会議場 (〒812-0032 福岡市博多区石城町 2-1)

3. ご協力をお願いしたい事項

支部名	お願いしたい事項
沖縄県支部	第3分科会 演題発表者
鹿児島県支部	第1分科会 座長 / 第2分科会 演題発表者
宮崎県支部	第2分科会 座長 / 第3分科会 演題発表者
大分県支部	第1分科会 演題発表者
熊本県支部	第2分科会 演題発表者
長崎県支部	第3分科会 座長 / 第1分科会 演題発表者
佐賀県支部	第2分科会 演題発表者
福岡県支部	第1分科会 演題発表者 / 第3分科会 演題発表者

4. 当日開催プログラム(予定)

11:30	受付開始
12:30	開会式 開会宣言、主催者挨拶、来賓挨拶
13:00	日本介護支援専門員協会 活動報告
13:30	休憩・分科会会場移動・展示ブース見学
14:00	分科会 14:00-14:10 分科会オリエンテーション 14:10-14:40 演題発表1 (発表15分 質疑応答・助言10分 予備5分) 14:40-15:10 演題発表2 (発表15分 質疑応答・助言10分 予備5分) 15:10-15:40 演題発表3 (発表15分 質疑応答・助言10分 予備5分) 15:40-15:55 分科会まとめ
15:55	休憩・会場移動・展示ブース見学
16:10	基調講演
17:45	次回開催県挨拶
17:50	閉会式(閉会挨拶)
18:00	閉会
18:30	情報交換会(懇親会)

5. 分科会テーマ及び発表時間

分科会名	分科会テーマ
第1分科会 発表時間15分 質疑応答等10分 (一人あたり)	多様化・複雑化する課題への対応 座長:鹿児島県 発表:福岡県 大分県 長崎県
第2分科会 発表時間15分 質疑応答等10分 (一人あたり)	生産性を高めるチームマネジメント 座長:宮崎県 発表:熊本県 鹿児島県 佐賀県
第3分科会 発表時間15分 質疑応答等10分 (一人あたり)	新たな業務のあり方 座長:長崎県 発表:福岡県 沖縄県 宮崎県

※各分科会テーマ主旨については、10. 分科会テーマ趣旨にてご確認下さい

6. 分科会座長・演題発表者の登録

※次の二次元コード(URL)から専用フォームを開き、該当者のご登録をお願いします。

分科会座長・演題発表者登録フォーム URL

(省略)
決定した演題発表者へ、後日個別にお知らせいたします。



7. 研究大会参加申し込み【重要】

座長・演題発表者の方は、開催要綱に沿って、研究大会への参加申し込みを行っていただくこととなります。研究大会参加費などにつきましては、申し訳ございませんが、各自の自己負担とさせていただきます。

※開催要綱は、現在、準備中です。開催要綱が完成次第、改めて、お送りします。

8. 事前打ち合わせ【重要】

事前の打ち合わせ会を10月頃を目途にWEB(ZOOM)にて行う予定にしています。

詳細につきましては、別途、ご案内させていただきます。

9. 登録期限【重要】

令和7年7月31日(木)

10. 分科会テーマ趣旨

第1分科会	多様化・複雑化する課題への対応
<p>介護保険制度において、介護支援専門員は、利用者・家族の多様なニーズ(高齢者だけでなく、若年層の障がい者や認知症患者の増加など、利用者の背景やニーズ)に応じたケアプランを作成し、サービスの調整を行う重要な役割を担っています。しかし、少子高齢化の進展や医療技術の高度化に伴い、利用者の状態はますます複雑化しており、介護支援専門員の業務も多様化・複雑化の一途をたどっています。</p> <p>また医療との連携も複雑化の要因となっています。高度な医療技術の発展により、在宅医療との連携が不可欠となり、医療に関する知識や連携能力が求められています。</p> <p>第1分科会では、多様化・複雑化する課題に着眼し、様々な研究や取組み事例等を踏まえ介護支援専門員を取り巻く環境について助言者にご参加の皆さんと共に、議論したいと思います。</p>	
<p><キーワード></p> <ul style="list-style-type: none">①介護保険制度や医療等の知識の習得について②法改正や新たな制度の導入に対応するための知識習得③地域包括支援センターとの連携や地域資源の活用について④地域包括ケアシステムへの対応について⑤介護支援専門員の専門性の向上と幅広い分野の知識の習得について⑥業務効率化のためのICTの活用について⑦その他	

第2分科会	生産性を高めるチームマネジメント
<p>介護支援専門員は、利用者のケアプランを作成し、様々なサービスを調整する重要な役割を担っています。介護支援専門員がチームを構築し、生産性を高めることは、利用者へのサービスの質の向上に直結します。多職種と共同しチームを構築することでチームマネジメントを効果的に行うことができ、介護現場の問題解決に大きく貢献することが期待されます。</p> <p>また、医療機関や他の介護サービス事業所との連携を強化し、より包括的な支援体制を構築できます。</p> <p>第2分科会では、チームマネジメントに着眼し、様々な研究や取組み事例等を踏まえ介護支援専門</p>	

員と各専門職との関わりや役割分担、多職種連携の強化・責任と権限について助言者にご参加の皆さんと共に、議論したいと思います。

<キーワード>

- ①チームマネジメントの必要性について
- ②役割分担の明確化・責任と権限について
- ③チーム構築時のコミュニケーション等について
- ④チームのリーダーシップについて
- ⑤メンバーのスキルアップについて
- ⑥その他

第3分科会

新たな業務のあり方

介護支援専門員の業務は、介護保険制度の複雑化や利用者の多様化に伴い、ますます重要性を増しています。利用者の生活の質を大きく左右する重要な役割を担っている一方で、介護支援専門員の多忙化や人材不足が深刻な問題として浮上しており、新たな業務のあり方が求められています。新たな業務のあり方を模索し、介護支援専門員がより専門性を発揮できる環境を整えることが、今後の介護保険制度の持続的な発展のためには不可欠です。

第3分科会では、新たな業務の模索について着眼し、様々な研究や取組み事例等を踏まえ介護支援専門員の専門性や人材育成、環境改善について助言者にご参加の皆さんと共に、議論したいと思います。

<キーワード>

- ①介護支援専門員の専門性について
- ②介護支援専門員の質の維持・向上について
- ③介護支援専門員の人材育成について
- ④介護支援専門員の置かれている環境とその改善について
(報酬体系の見直しやキャリアパス設計など、介護支援専門員の処遇を改善し、モチベーションの向上)
- ⑤介護支援専門員の人材不足を乗り切るために
- ⑥介護支援専門員の働き方改革について
(残業時間の削減や休日取得の促進など、働きやすい環境づくり)
- ⑦介護支援専門員の心理的な支援
(ストレスマネジメントや心のケアなど、心理的な支援体制)
- ⑧介護支援専門員のシャドウワークについて
- ⑨その他

11. 問い合わせ・連絡先

公益社団法人福岡県介護支援専門員協会 事務局

(省略)

決定した演題発表者へ個別にお知らせいたします。

演題発表者をご希望の場合は、所属支部・ブロックの理事へご連絡ください。